



安全運転取り組みで自動車保険(フリート契約)を最大 10%割引 ～事業者向けテレマティクスサービスに「安全運転特約」を新設～

2020年12月3日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、事業者向けテレマティクス^{※1} サービスを導入する企業の事故低減・安全運転に関する取り組みに対し、自動車保険(フリート契約^{※2})を最大 10%割引する特約「安全運転特約」を新設し、2021年1月より販売を開始します。

※1 テレマティクスは、「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語で、カーナビやGPS等の車載器と移動体通信システムを利用して、様々な情報やサービスを提供する仕組み

※2 所有・使用するお車の総付保台数が10台以上のご契約

1. 開発の背景

当社は「事故のない安全・安心なクルマ社会」の実現に向け、テレマティクス自動車保険のパイオニアとして、これまで先進技術を活用した商品・サービスを展開してきました。

「ささえる NAVI『Lite』」は、これまで約 2,000 社の企業に導入され、導入企業の約 7 割において事故低減効果を確認しています。今般、企業の事故低減取り組みをさらに加速させるべく、新たな車載器を開発するとともに、「安全運転特約」を新設し、2021年1月より提供を開始します。「ささえる NAVI『Lite』」に搭載している独自の運転評価システム^{※3} を用いて、企業の事故低減取り組みを評価する、業界初の仕組みを採用しています(2020年12月当社調べ)。

※3 富士通社の特許技術による運転評価方法(エコ&セーフティドライブ評価):特許番号 3944549 号

(ご参考) これまでの当社事業者向けテレマティクスサービスについて

2016年4月	事業者向け事故低減支援サービス「ささえる NAVI」を提供開始
2018年4月	「ささえる NAVI」に、安価で幅広い事業者のニーズにマッチした車載器「Lite」を追加
2019年10月	当社独自の革新的な事故対応サービス「テレマティクス損害サービスシステム」を提供

2. 特約の概要

事業者向けテレマティクスサービスを導入した企業が、当社の事故低減プログラム^{※4} を実施するなど一定の条件を満たした場合、自動車保険(フリート契約)で最大 10%割引を適用します。

※4 指定車載器を通じて得られた運転データをまとめたレポートにもとづく、効果的な事故低減取り組み等

(1) 実施時期

2021年1月始期契約より実施

(2) 対象契約

事業者向けテレマティクスサービス導入企業の自動車保険(フリート契約)

(3) 割引率

テレマティクスサービスを活用した企業の事故低減取り組みを評価し、保険料の最大 10%を割引

(ご参考) 特約を付帯した場合の年間保険料例

特約適用前保険料	特約適用後保険料
2,859,000 円	2,573,100 円

○契約条件:自動車台数 30 台(いずれも自家用普通乗用車、料率クラスは全て 7)、優良割引率 50%、フリート多数割引 5%適用、安全運転特約(10%割引)適用の場合

○補償内容:対人賠償無制限、対物賠償無制限(免責なし)、車両保険(一般補償)保険金額 200 万円

3. 「ささえる NAVI 『Lite』」新車載器により提供するサービスの概要

新車載器はドライブレコーダーに加え、2nd カメラ（ドライバーモニタ）とバッテリー付き電源ケーブルを標準搭載し、ドライバーの運転特性に応じた具体的・効果的な安全運転指導や、より確実な事故映像等の送信を実現します。なお、車載器のリニューアルに伴うサービス利用料の変更はありません（月額 1,700 円/1 台あたり・税別）。

当社は、新車載器を用いた各種サービスを提供することで、事故低減取り組みを後押しするとともに、万が一の事故発生時にも当社独自の「テレマティクス損害サービスシステム」により、企業の安全・安心をサポートします。

<事故低減取り組みを後押しする仕組み>

○2nd カメラ（ドライバーモニタ）を活用した安全運転支援

- ・「顔認証機能」を搭載。運転者を自動特定し、ドライバーごとの運転結果に対して安全運転指導が可能
- ・「携帯使用・わき見・居眠りアラート」により、「ながら運転」等の危険挙動を抑制



ドライバーごとの安全運転指導を実現



ドライバーの危険運転挙動を抑制

○利便性を追求した、実効性の高い安全運転指導を実現する管理者サイト

- ・地図上に表示される各車両の走行軌跡から、危険運転履歴や撮影動画を管理者が一元的に確認可能

<新車載器を活用した「テレマティクス損害サービスシステム」>

○確実な事故映像の送信

- ・大きな衝撃を検知した場合には、ドライブレコーダーの映像を導入企業および当社に自動送信
- ・バッテリー付き電源ケーブルにより、大きな衝撃等で車載器への電源供給がストップした後であっても動画送信が可能
- ・バッテリーによる車載器のクイック起動を実現し、乗車直後の駐車場内事故等にも対応



大きな事故で電源供給がストップした場合でも映像等の確認が可能



出庫直後の事故にも対応

4. 今後の展開

当社は、これからもテレマティクスをはじめとした自動車先進技術の進化や環境変化に迅速に対応するとともに、お客さまからのご意見・ご要望を踏まえた商品・サービスの開発・拡充を進めることで、「安全・安心なクルマ社会」の実現に貢献していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。

